

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年4月18日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		3月の価格動向			4月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価 額		
			中旬	下旬				上旬
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	103	83	80.35	92	・入荷見込量：－ ・主産地：神奈川（43）、愛知（41）、千葉（7）	・愛知産は生育は順調だが、出荷の終盤を迎え下旬にかけて減少傾向。神奈川産は順調な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。 ・神奈川産の順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		79.74	101	82	86.69	89	・入荷見込量：4,500t（101） ・主産地：愛知（46）、大阪（17）、兵庫（16）、和歌山（8）	
	ねぎ （関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ）	229.99	312	222	264.1	203	・入荷見込数量：－ ・主産地：千葉（42）、埼玉（28）、茨城（11）	・千葉産は順調な生育、出荷の見込み。埼玉産は秋冬ものから春ものに切り替わっていく時期。春ものは冬場の低温の影響でやや遅れぎみの出荷となっているが、今後は順調な出荷の見込み。 ・主産地の千葉が平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		450.51	334	279	334.73	269	・入荷見込数量：250t（91） ・主産地：徳島（28）、大阪（15）、三重（13）、高知（11）、香川（11）、奈良（9）	
	はくさい	64.34	98	94	67.05	70	・入荷見込量：－ ・主産地：茨城（90）、兵庫（7）	・茨城産は天候も良好で生育は順調、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は冷蔵主体の出荷で、出荷は終盤を迎えて徐々に切り上がる見込み。 ・茨城産の出荷が順調であることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		76.33	103	121	82.06	106	・入荷見込量：3,100t（96） ・主産地：長崎（43）、兵庫（16）、愛知（12）、熊本（11）、大分（9）	
	ほうれんそう	307.66	435	376	376.1	419	・入荷見込量：－ ・主産地：群馬（32）、茨城（29）、埼玉（18）	・群馬産は、出荷制限解除になり、4/11より本格的な出荷が開始となったが、今後の出荷は前年より少なめの見込み。埼玉産は冬場の低温の影響で平年より少なめの出荷となっている。4/18の週がピークで今後は少なめの出荷となる見込み。 ・出荷量の増加が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		341.25	319	326	396.89	418	・入荷見込量：570t（101） ・主産地：徳島（56）、福岡（15）、埼玉（5）	
	レタス	210.15	164	127	164.45	140	・入荷見込量：－ ・主産地：茨城（64）、兵庫（14）、香川（7）	・茨城産は天候も良好で生育は順調、玉肥大も進み、順調な出荷の見込み。生産者の出荷控えなどは解消しつつある。兵庫産は、生育が順調で順調な出荷の見込み。4月は出荷のピークで、平年並みから平年以上の出荷の見込み。 ・生育が順調なことから出荷量は潤沢と見込まれ、価格は平年並みに推移する見込み。
		214.33	173	172	173.68	202	・入荷見込量：1,300t（95） ・主産地：兵庫（49）、徳島（22）、香川（14）、茨城（8）	
	たまねぎ	76.15	140	138	91.24	130	・入荷見込量：－ ・主産地：北海道（45）、佐賀（37）、輸入（9）	・北海道産は終盤を迎えており出荷量は平年を下回る見込み。佐賀産は順調な生育で、前年並みの出荷の見込み。 ・佐賀産の順調な出荷が見込まれることから、価格は高めながらやや平年並みに近づく見込み。
		76.15	135	130	91.24	130	・入荷見込量：3,900t（94） ・主産地：北海道（49）、兵庫（17）、長崎（12）、静岡（9）	
果 菜	きゅうり	253.93	250	157	253.93	164	・入荷見込量：－ ・主産地：埼玉（31）、群馬（21）、千葉（13）	・埼玉産・群馬産ともに天候に恵まれ生育は順調で、平年を上回る出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		242.77	251	181	242.77	176	・入荷見込量：1,200t（105） ・主産地：宮崎（45）、徳島（18）、高知（18）、愛媛（8）	
	トマト	323.6	363	275	323.6	336	・入荷見込量：－ ・主産地：熊本（21）、栃木（21）、愛知（13）	・熊本産は順調な生育となっており、前年を上回る出荷となっている。栃木産は一部地域で震災の影響によりハウスの倒壊等による低温障害等が発生したが、その後は順調な生育となり前年を上回る出荷となっているが、下旬は少なめの出荷になる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		321.78	347	321	321.78	343	・入荷見込量：1,000t（99） ・主産地：熊本（50）、福岡（20）、愛知（11）	
	なす	347.77	351	294	347.77	278	・入荷見込量：－ ・主産地：高知（48）、福岡（16）、熊本（9）	・高知産は生育、出荷ともに順調で平年並みの出荷の見込み。福岡産も天候に恵まれ、潤沢な出荷となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		348.37	337	301	348.37	264	・入荷見込量：550t（115） ・主産地：熊本（30）、高知（26）、福岡（20）、岡山（11）、大阪（7）	
	ピーマン	501.13	588	363	308.36	330	・入荷見込量：－ ・主産地：茨城（57）、宮崎（22）、高知（13）	・茨城産・宮崎産ともに、生育は順調である。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		467.19	570	485	283.1	375	・入荷見込量：280t（95） ・主産地：宮崎（61）、高知（27）、鹿児島（7）	
根 菜	だいこん	83.19	81	68	91.15	72	・入荷見込量：－ ・主産地：千葉（78）、神奈川（14）、	・千葉産は生育は順調、今後は春ものの出荷となり出荷量が増える見込み。 ・千葉産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		84.7	84	85	104.71	86	・入荷見込量：3,000t（100） ・主産地：徳島（23）、長崎（23）、鹿児島（19）、福岡（12）、香川（7）	
	にんじん	96.24	201	217	156.99	213	・入荷見込量：－ ・主産地：徳島（70）、千葉（10）	・徳島産は3月の低温、少雨の影響で、小ぶり傾向、今後は天候の回復とともに肥大状態も回復するものと見込まれるが、当初の計画より少なめの見込み。 ・徳島産の出荷量が当初の見込みより少なめと見込まれることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		104.73	185	219	156.17	215	・入荷見込量：2,300t（92） ・主産地：鹿児島（54）、徳島（20）、長崎（11）、愛知（9）	

種類		3月の価格動向			4月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額		
			中旬	下旬				上旬
い も	さといも	217.95	307	288	－	271	・入荷見込量：－ ・主産地：埼玉（40）、千葉（36）	
		219.65	304	367	－	397		・入荷見込量：117t ・主産地：愛媛（43）、宮崎（22）、千葉（10）
	ばれいしょ	88.17	165	185	131.8	195	・入荷見込量：－ ・主産地：北海道（59）、鹿児島（35）、	・北海道産は夏の高温の影響で小玉傾向、空洞果多く、玉つきも悪く、出荷量は少なかった前年を下回る見込み。鹿児島産は低温・曇天の影響で、生育が良くなく、平年を下回る見込み。 ・価格は、引き続き平年より高めで推移する見込み。
		88.17	164	174	131.8	185		
1）平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）。 2）旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの（消費税は除く）。 3）単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック								
1）入荷見込数量（近畿）は近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。（ ）内は前年対比。さといも（近畿）は前年実績。 2）主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアであり、関東・近畿ともに前年の実績。 3）コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。								

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,267gで前年比96%、購入金額は、1,629円で同103%となり、購入量は前年を下回り、購入金額は前年を上回った。
また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は194円で過去5年平均比107%、レタスは401円で同88%となり、キャベツは5カ年平均を上回り、レタスは下回っている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年 月	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768		0		0
4月	4,732	1,808	4,518	1,884		0		0
5月	5,094	1,902	4,925	1,965		0		0
6月	5,033	1,880	5,026	1,907		0		0
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5カ 年平均	平成23年	5カ年 比 (%)	過去5カ 年平均	平成23年	5カ年 比 (%)
H22.7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	166	104	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	159
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	185	127	456	393	86
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	194	107	455	401	88
4月	250		0	464		0
5月	185		0	399		0
6月	159		0	360		0

注1：過去5カ年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均
注2：3月の値は、3月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

3月の輸入量を植物防疫統計でみると、たまねぎが前年比125%の4万2千トン、にんじん同334%の1万3千トン、ねぎ同132%の6千トンとなり前年を大きく上回っている。

これらの品目は、国産の産地が不作なことから国産の不足を見越し輸入量が増えているものと思われる。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1~2月		平成23年2月
		前年比		前年比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	168,013	134	129
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	281,957	110	98
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	449,971	118	109
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	220,138	121	111
中国産シェア	50		51		49		46

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.3	(B)2011.3	(B)/(A)
たまねぎ	合計	33,541	42,014	125
	中国	16,753	21,625	129
	米国	5,419	11,188	206
にんじん	合計	3,966	13,239	334
	中国	2,230	9,123	409
	台湾	792	2,547	322
ねぎ	合計	4,380	5,788	132
	中国	4,377	5,786	132

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.3）は、3月末日までの速報値である。

4 トピック

東日本大震災と野菜の輸入について

3月の輸入量をみると、たまねぎは増加しているが昨年以来の国内産の不作によるものとみられる。キャベツ、レタスは増加しているが量的には大きなものではない。

だいこん、はくさいも前年を上回っているが元々この時期の輸入量自体が数10トン程度と少ないので、国内産の代替としていいがたい。

現状では、震災の影響で輸入が大きく増えているという実態にはないが、正確な情報にもとづく国内産野菜の需要拡大に努める必要がある。

輸入数量 2010年及び2011年比較 (2月～3月)

たまねぎ

単位:トン

月	2010年 たまねぎ	2011年 たまねぎ
2月	28,000	37,000
3月	34,000	43,000

キャベツ

単位:トン

月	2010年 キャベツ	2011年 キャベツ
2月	1,500	4,500
3月	3,500	6,500

レタス

単位:トン

月	2010年 レタス	2011年 レタス
2月	1,000	1,500
3月	500	1,000

資料:ベジ探 原資料:農林水産省 植物検疫統計